

平成23年度 教育フォーラム in たのはた

# みんなで育てよう地域の子どもたち

## ～まち（地域）は、ひとつの大きな学校～



岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課  
主任社会教育主事 佐藤敦士

- 「学力向上」 ⇒ 決め手はない。
- 「学力向上」の最小限の条件
  - ①**子ども** ; 素直で、仲が良く、頑張り屋
  - ②**教員** ; 教育愛を持ち、一人ひとりを大切に
  - ③**保護者** ; 学校への理解と協力
  - ④**地域** ; 慈愛を持って子どもを支援
  - ⑤**行政** ; 条件整備と財政支援
- 豊かな体験で感性を磨く ⇒ 「学力向上」

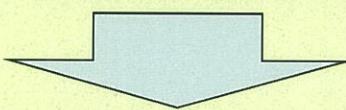
学力日本一の秋田県…。  
秋田県の中でも、最も学力が高い「東成瀬村」  
東成瀬村教育委員会 鶴飼 孝教育長 談  
【東成瀬村；山林原野93% 人口約2,900人（高齢者率35%）】

## そもそも、「教育振興運動」とは？

子ども・学校・家庭・地域・行政が、総ぐるみで、  
地域の教育課題の解決に自主的に取組む岩手県独自  
の教育運動のこと

昭和40年、学力向上のための取組（読書運動等）に  
始まる

～ 田野畠村は、全県に先駆けて取り組む ～



以後、子どもを取り巻く諸問題に対応し、岩手県の  
教育環境の整備充実に大きな役割を果たしてきた

## 「運動」とは、どういうもの？

### ★「活動」と「運動」の違い

（三省堂「例解 小学国語辞典」より）

「活動」 ⇒ 元気よく動いたり、働いたりすること

「運動」 ⇒ 目的のために、人々に働きかけること

<ポイントはココ①！> “運動”とは？

#### 活 動

① 自分の行動

② 行動そのもの

#### 運 動

他に働きかけ、みんなで取り組む

目的達成のために取り組む

# 「教育振興運動」の流れ

共有

## ① 目的の確認

・・・「実態」を把握し、「課題」を設定する。

問1) 田野畠の子どもたちの課題は何ですか？

今、地域が取り組まなければならないことは何ですか？



共有

## ② 目指す姿の確認

・・・「課題を解決した時の姿」をイメージする。

問2) どのような子どもたちに、育っていますか？

どのような地域に、変わっていますか？



共有

## ③ 達成方法の検討・・・「分担」と「方法」を決める。

問3) 誰が、どのような活動をしたら、課題は解決しますか？

- ⇒ 子ども；児童会・生徒会、地域活動による活動
- ⇒ 親；日常的な励まし、学校や地域活動への協力
- ⇒ 学 校；実態把握、子どもの活動を支援
- ⇒ 地 域；地域活動の取組、親への支援
- ⇒ 行 政；経費の確保、広報（周知・共有・情報提供）



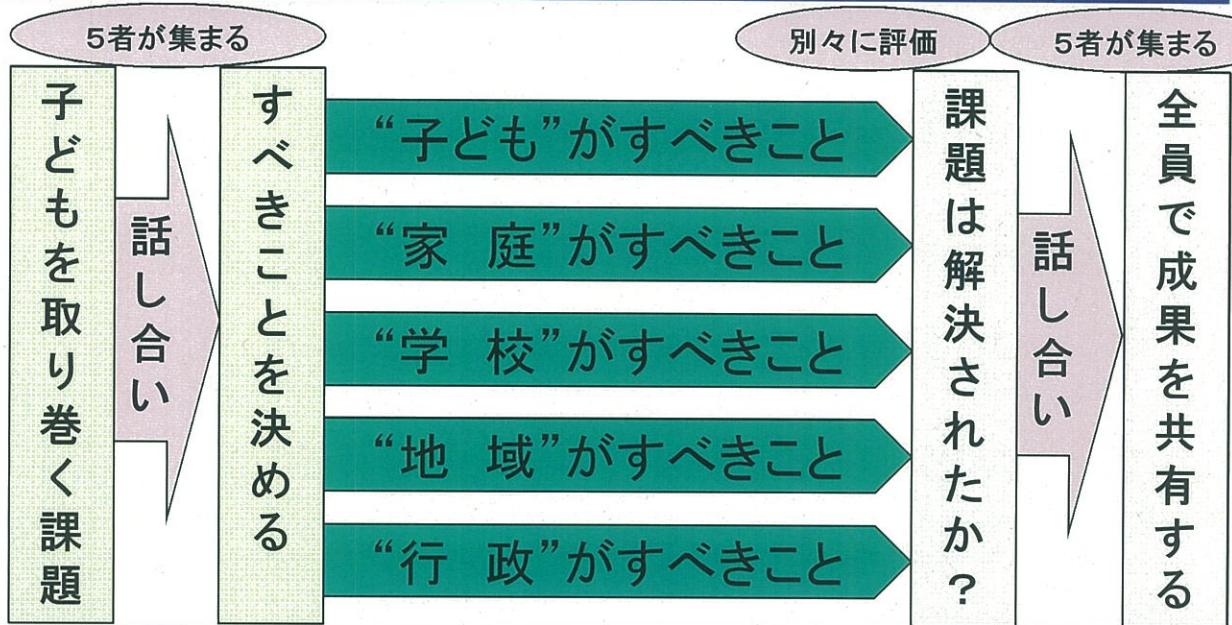
分担

## ④ 目的達成に向けての取組・・・「みんなでやる」。

問4) 課題の解決を意識して、それぞれが取り組んでいますか？

- ⇒ それぞれの取組を定期的に確認・評価する必要

# 「みんなでやる」ということは？



<ポイントはココ②！> “みんなでやる”とは？

5者の全員が集まって取り組む

≠ 「みんなでやる」

それぞれがすべきことを責任をもってやる

= 「みんなでやる」

## ⑤ 目的達成を実感・・・「評価」をおこなう。

問5) 課題が解決され、子どもたちは変わりましたかたか？

課題解決に取り組み、地域は変わりましたか？

⇒ 5者がすべきことをおこなったかどうかを評価する

⇒ 子どもや地域の変化を評価する

共有

運動の「成果」と「課題」を共有し、残された「課題」は次年度の取組に反映させる。

<ポイントはココ③！> “評価”とは？

× 「取り組んで楽しかった」

× 「一生懸命頑張った」

○ 「子どもが、地域が変わった」

○ 「課題が改善され、目的が達成された」

客観的に数値で  
変化を確認する

## (ポイント1)

「運動」とは、目的達成に向けて、みんなでおこなうもの。

○今、本当に必要なこと、すべきことは何ですか？

○例年通りの「活動」ありき……になっていませんか？

## (ポイント2)

「みんなでやる」とは、それぞれの役割に責任を持つこと。

○目的を達成するために、必要な方法は何ですか？

○みんなが集まる取組を、みんながやると思っていませんか？

## (ポイント3)

「評価」とは、それぞれの立場の取組や子ども・地域の変化を客観的に数値として確認すること。

○目的が達成されたとは、どういう状態だと思いますか？

○「活動」の感想(楽しかった・頑張った)……になっていませんか？

「教育振興運動」に取り組むと……

課題に取り組むことで…

1 子ども(の生活)が変わる

大人が本気になることで…

2 大人(の意識)が変わる

地域の大人が協力することで…

3 地域が変わる・ひとつになる

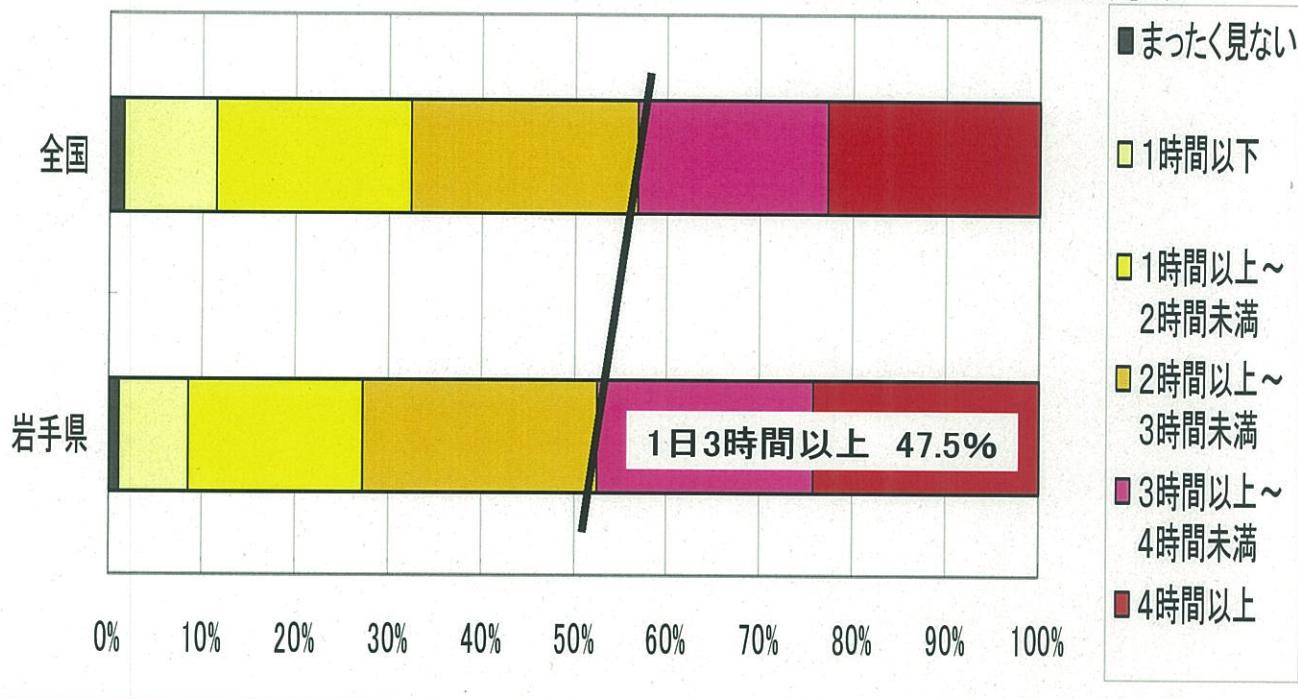
# 全県共通課題の提唱の背景

## ～岩手県の課題～

### 小学校6年生「1日あたりのテレビ・ビデオ・DVD視聴時間(平日)」

(テレビゲーム・インターネットの時間は除く)

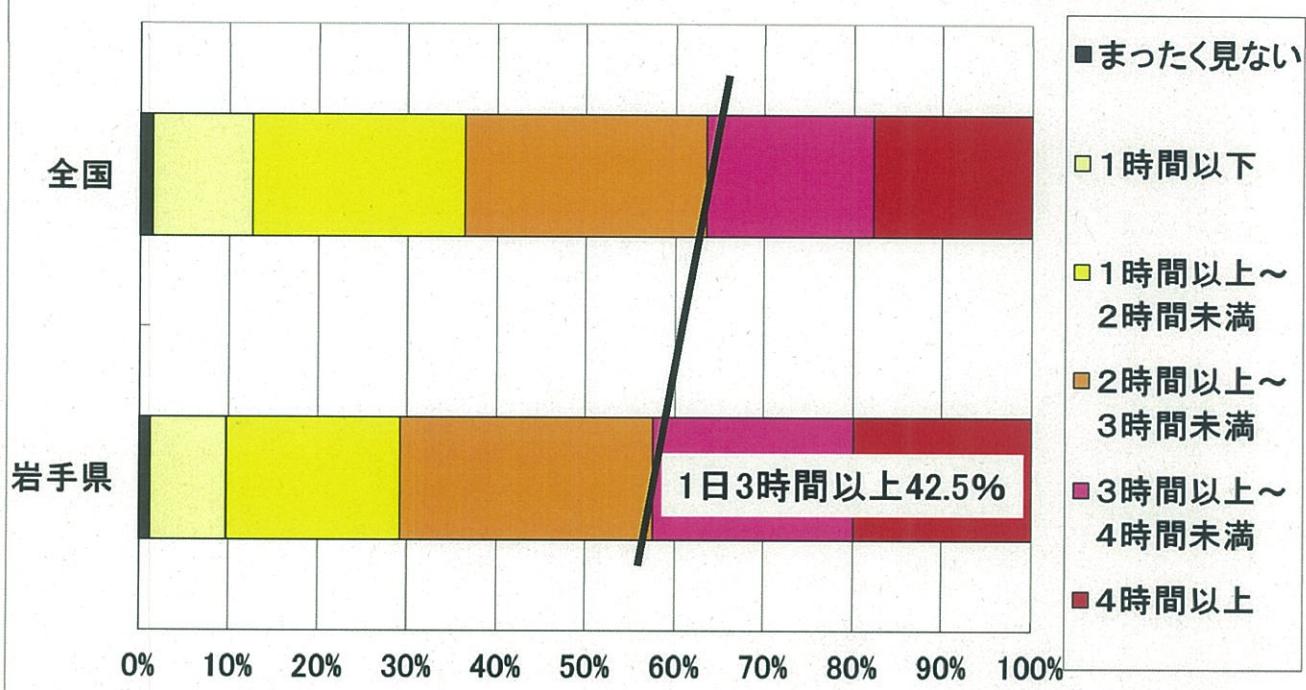
平成22年度全国学力・学習状況調査  
[H22.4.実施]より



### 中学校3年生「1日あたりのテレビ・ビデオ・DVD視聴時間(平日)」

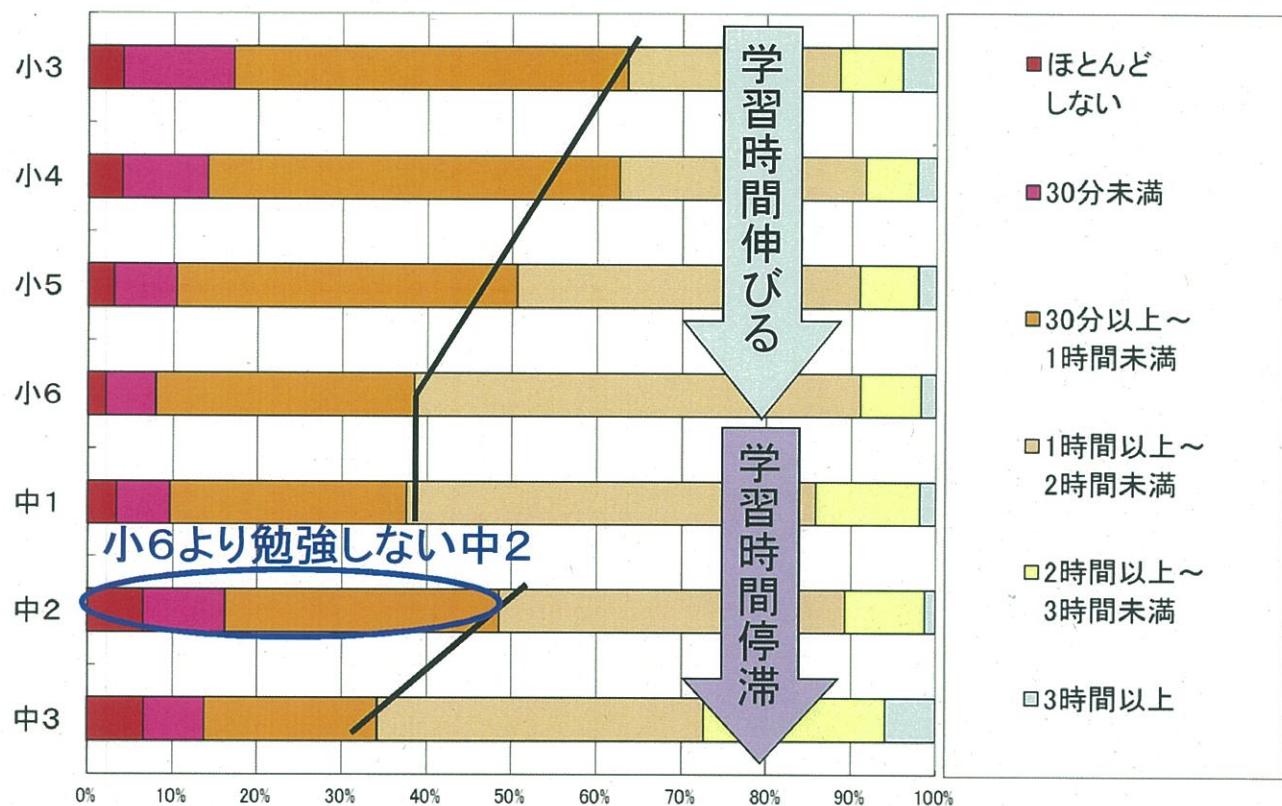
(テレビゲーム・インターネットの時間は除く)

平成22年度全国学力・学習状況調査  
[H22.4.実施]より



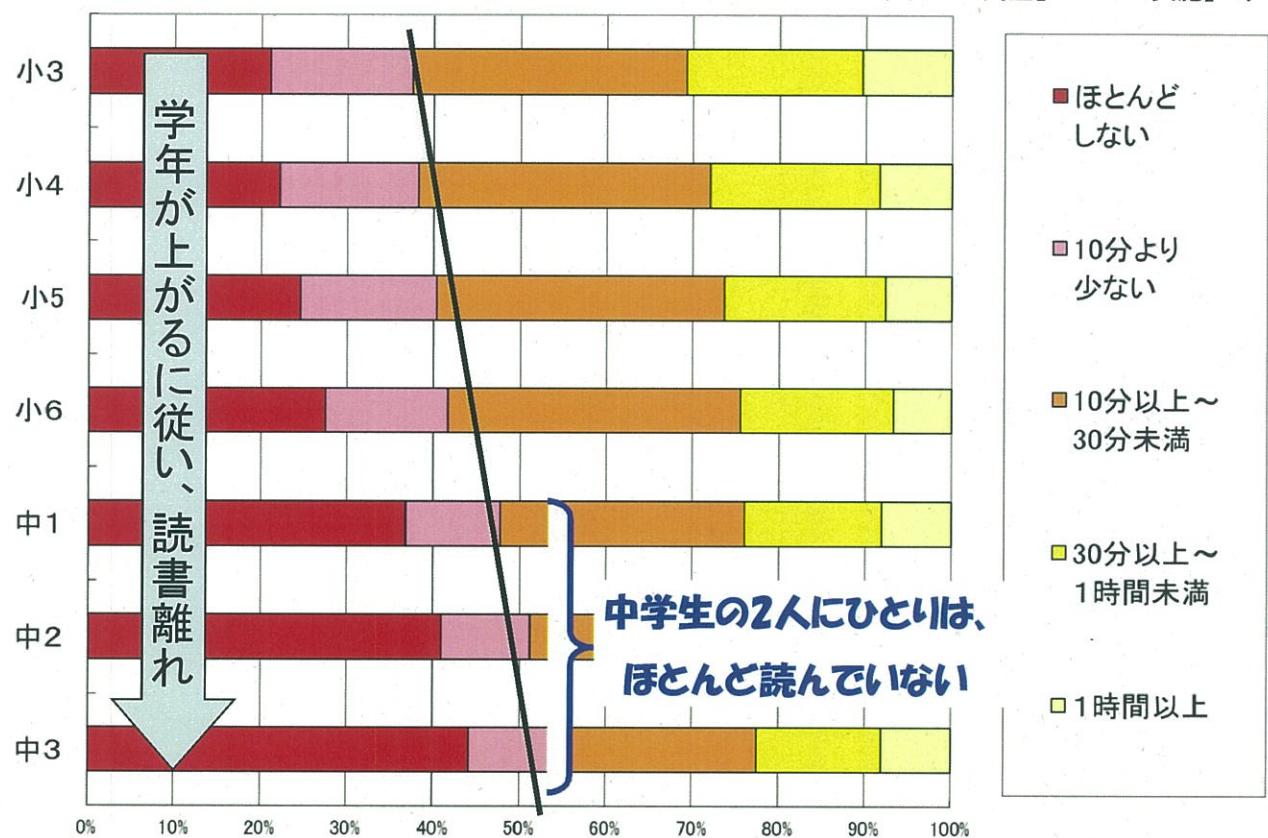
## 岩手県「学校の授業以外の1日あたりの学習時間(平日)」

平成22年度岩手県学習定着度状況調査【H22.10.6.実施】より



## 岩手県「家や図書館における1日の読書時間(平日)」

平成22年度岩手県学習定着度状況調査【H22.10.6.実施】より



# つまり、岩手県の子どもたちは・・・

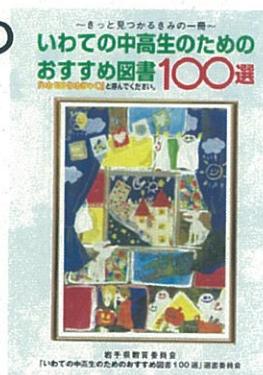
- ①家庭におけるテレビ・ビデオ・DVD等の**視聴時間が長い。**
- ②中学生の**家庭学習時間が短い。**
- ③学年が上がるにつれて、**読書離れの傾向**がある。



★「全県共通課題(家庭学習・読書活動)」として、全県に提案！

★「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」の

県内全中高生への配付！



## では、田野畠村の課題は・・・

昭和40年運動スタート

岩手県 = 学力が低い

**学力向上**

昭和46年代 ~

地域の実情や社会情勢に対応できるように運動を充実

**健全育成**

**健康安全**

昭和50年代後半～  
全国的に校内暴力が問題

昭和60年代以降  
子どもの体力低下傾向が続く

**H17 「みんなで教振！10か年プロジェクト」スタート**

目的；運動の基本理念に立ち返る～再点検と改善の取組～

日本一TV時間が長い

**全県共通課題**  
(家庭学習・読書活動)

**H23. 3. 11. 「東日本大震災津波」による被災**

**今、取り組むべきことは何だろうか？**

# 考えたいのは・・・

★ 従来の活動にとらわれない…。

～「例年通り…」ではない現状からのスタートを考えて～

★ あれもこれもと、欲張らない…。

～シンプルで、みんなが協力できることに絞って～

★ 実践区(旧小学校区)で守りたいことは…。

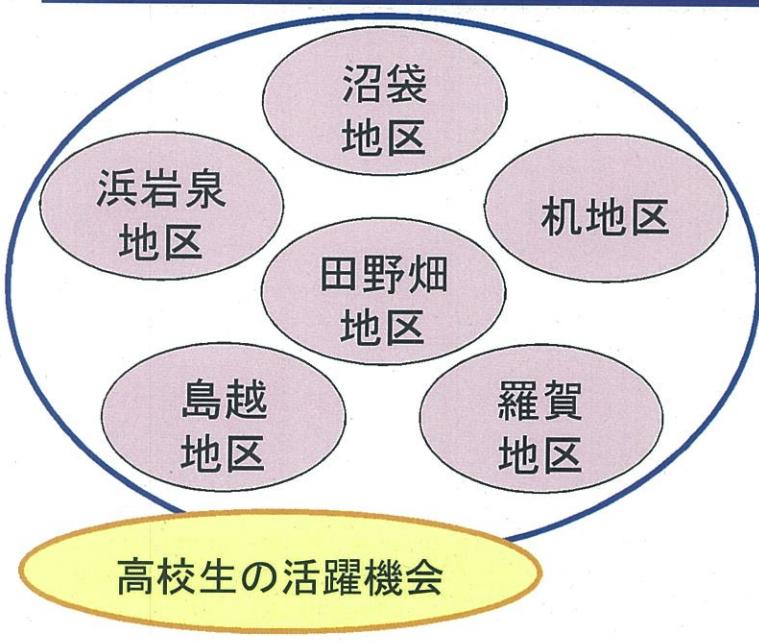
～「〇〇らしさ」(地域の誇り)が、地域コミュニティの土台～

★ 学校区だからできることは…。

～小中連携で、兄弟・姉妹が同じ取組をできるように～

★ 「東日本大震災津波」の苦難を乗り越え、  
みんなで力を合わせたいことは…。

## 例えば・・・



### ○ 実践区として

- ・伝承活動(3世代交流)
- ・仮設住宅の交流事業

### ○ 学校区として

～小中連携の強み～

- ・家庭学習の充実  
学校・家庭;宿題と励まし  
地域;子ども教室での支援
- ・読書活動の推進  
学校;朝読書・図書環境  
家庭;親子読書  
地域;読み聞かせ・学校支援

『学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業』の活用

～学びや交流により、地域を元気にする事業～

# 「釜石の奇跡」

“奇跡”でも、なんでもありません。

助かったことは“奇跡”かもしれませんが、やっていることは“奇跡”ではありません。

普段、やっていることをやつただけです。

(釜石東中学校長・生徒 談)



ゆずり合い・助け合い、いざという時の判断…

当たり前のことを、当たり前にやる。

- ⇒ 岩手の子どもたちの学力(生きる力)の高さを証明
- ⇒ 学校が、家庭が、地域が育んできた成果

いろんな人が関わることで、子どもたちが豊かに育っていきます。

みんなで育てましょう。 地域の子どもたちを・・・。  
地域全体が、子どもたちを育む大きな“学校”です。



ご清聴、ありがとうございます。